

平成 30 年 9 月定例教育委員会会議録

1. 開催日時 : 平成 30 年 9 月 28 日 (金) 9 時 00 分から 11 時 00 分まで
2. 会 場 : 臼杵市役所 臼杵庁舎 3 階 臼杵庁舎 301 会議室
3. 出席委員 : 教育長 齋藤 克己
教育長職務代理者 垂井 美千代
委 員 渡辺 義弘
委 員 野上 美智子
委 員 神田 岳委

4. 出席職員

教育総務課長	甲斐 尊		
社会教育課長	大戸 敏雄	文化・文化財課長	川野 徳明
学校給食課長	安東 信二	教育総務課総括課長代理	麻生 幸誠
学校教育課総括課長代理	口石 愛	社会教育課課長代理	那賀 啓史
文化・文化財課課長代理	神田 高士		
教育総務課主査	米木 淳子	教育総務課主事	姫野 まりな

5. 傍聴人 なし

1. 開会宣言

(事務局)

開会に先立ちまして、本日の出席者の報告を行います。本日の出席者 5 名、欠席者 0 名で、出席者が過半数に達しましたので、臼杵市教育委員会会議規則第 3 条の規定により本会は成立となりました。以上、報告いたします。

(教育長)

これより臼杵市教育委員会、平成 30 年 9 月定例会を開催致します。本日の委員会の会期は、本日限りといたします。次に、会議録署名委員に、神田委員と野上委員の 2 名を指名致します。

2. 教育長報告

それでは、次第に沿って、2の教育長報告をいたしたいと思います。

お手元にお配りしています、9月の行事報告に沿って説明いたしたいと思います。

この9月ですけれども、ちょうど今日は非常に快晴ですが、臼杵カントリーでは、フンドーキンレディースの最終日ということでございます。台風24号がこの週末に接近するために、週末実施を予定しています運動会がそれぞれ延期になるような状況ですので、また、後ほど変更日程等についての説明をいたしたいと思います。そういった9月は台風で始まり、北海道のほうで非常に痛ましい地震があって、そういった9月の始まりでありました。ちょうど2学期が始まって、そういった台風あるいは地震ということで始まった状況です。

行事日程の9月3日からの小・中学校の始業式ということで始まりました。その翌日に9月の定例議会が開会いたしました。9月はこの議会と、スポーツの秋ということで県体等も開催されております。

それで7日に定例の校長会、2学期始まったの最初の校長会ということで、この日は夏休みの期間、大きな事故等もありませんでした。そういったことと、それと夏休みに入っていくなり何か暑くて、40度を超えるような暑さ、それから、先ほども言いました台風、それから9月に入ってすぐの地震、そういったことを踏まえまして、お話させていただきました。異常気象ということと、それから、実はこの8月末、25、26日に防災士を全小学校に案内して、全部で17名ですか、防災士を新たに学校の先生たちに受けていただいて、防災士の資格をとっていただきました。というのも、一つは、各学校が避難所になっている関係で、休みのときに台風があるとは限らないんで、もし学校があるときに対応できるように、そういったことでの対応。それから、先ほど言いましたように、異常気象というこの中で、防災に対する学校の対応というのは非常に大変だと思うので、そういった意味も含めてこの防災士、それから県のほうが来年度から、今年からも始めているので、今年から県立学校に防災教育コーディネーターというのを配置するようにしています。これが来年度から市町村の学校にも配置を求められますので、そういったものにも対応できるように、このように初めて、この防災士の受講料も市のほうで負担してもらって、佐伯市のほうで受講していただいてということで、17名新たに防災士が誕生いたしました。来年度以降も続けたいというふうに考えています。

それから、当日、第12回目になりますけれども、臼杵っこ検定の認定式がありまして、今回は上級者、上級認定者10人、うち2人の方が一般の方ということであります。昨年が事故に遭って、受講、受験者もだんだん少なくなっているなという感じがいたします。その背景には、やっぱりちょっとこれは直接は関係ないかもしれませんが、管理職と教頭は、市外の方が随分増えたということもあるのかなというふうに思っています。そういったことも踏まえながら、今日も後ほど学力向上の中で、臼杵大好き臼杵っこ育成のための特別講演とい

うことで、今年初めて文化祭というか、それについて神田のほうに講師になっていただいて、研究主任を対象に研修会をしたんですけれども、こういったことも、ちょっと臼杵市を対象にしていくようにする必要があるのかな。臼杵についてももう少し知っていただくことをやりながら、こういったスクール検定の大切さというのをちょっと知っていただくことが、認識していただくことは大事なかなというのをちょっと感じました。

それから、8日ですけれども、この日から、先ほど言いました県民体育大会、県体がありまして、開会式が今年は県南ということで、佐伯市の総合体育館のほうで開会式がありました。8日から10日まで、月曜日までということです。ただ、今回は雨で、だいぶ競技も中止になったり、女子のソフトボールが中止になったり、あるいは途中で打ち切りになったり、途中までしかできなかつたりというようなことがありました。右側にちょっと書いていますけれども、残念な結果であります。もう新聞で御存じだと思いますけれども、総合9位、B部4位ということでありました。後ほど、社会教育課のほうから報告があると思います。

同日午後2時から幼児教育の推進講演会ということで、臼杵っこ子育ての羅針盤をつくって、幼児教育基本方針をつくって、それを広めるためのまず今年度の取り組みの一つとして、この日に開催いたしました。今、研修で幼稚園、保育園に入っている渡辺先生による研修報告、それから、この基本方針をつくっていただくときに入っていた大分大学の田中准教授のほうから、21世紀を生きる子供たちに必要なことということで講演いただきました。詳しくはまた後ほど説明いたします。

あと、9、10と県体の応援、10日は議員ソフトが、8日の予定が月曜日に延期ということで議員ソフトの話、津久見との対戦だったので応援に行きましたが、11対3ぐらいだったかな、それ1回だけで、ほかの市の議会が棄権したこともあって、2試合だけ開催しました。だから優勝になるんですか。ということでもあります。

それから、11、12が議会の一般質問ということで、別紙に議会の委員の質問でしたかね、皆さんはいつ、質問要旨の一覧のやつ、これで初日11日に、4番目の川辺隆さん、川辺議員の質問、小学校ブロック塀、それから小・中学校のエアコン、それから給食費についての質問がありました。それぞれブロック塀、臼杵は東中学校と海辺小学校、これはちょっと改修の必要があるということで、東中学校は既に終わっていますが、海辺小学校は今ちょっと工事中ということで、今の状況のお答えをいたします。

小・中学校のエアコンについては、これも以前からお話していますように、市としては、来年度全ての小学校に設置したい。ただ、国の交付金の補助の状況がありますんで、それによって対応したいということで、対応しています。

この給食費については、納入状況と徴収方法、給食費の徴収が、臼杵が今、学校を通じて徴収していますけれども、野津は口座振込ということで、それを統一できないかということ

で、今、臼杵のほうを、給食費の負担軽減も含めて口座振替の方法でできるように、方向を進めているところであります。

それから一番最後のページの、7番目の匹田議員から、一点目は、小学校のエアコンの設置について。これは川辺議員と同じ質問で、それから、二点目の学校現場における働き方改革ということで、労働時間の把握の方法、他市町村でICカードを導入していますがということで、そういった質問です。今、臼杵のほうもこのICカードの検討を進めていることを答えさせていただいて、業務の軽減につきましては、今、こういった取り組みをしているかということで質問いただきました。

一つ、できるだけ会議等を、一緒にできるものは一緒にするとか、あるいは、野上委員いらっしゃるんですが、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、そういった学校の部分を市のほうで補助できる。そういったことに対応をしている。特に目に見えて軽減ということではありませんが、そういったことをお答えさせていただきました。それからスクールサポートスタッフですけれども、これは国の補助事業で、今年度、臼杵小と野津小に先生たちの採点とかコピー、印刷とか、そういったことの補助ができる一般の職員を臨時に1名配置しているんですけれども、その状況。それから、今後はどうなるのかということで、今、スクールサポートスタッフ、非常に助かっているという声が学校から上がっていますので、それができればふやしていただきたいということを、県のほうにも要望したいということでお答えいたしました。そういった質問がありまして、そういうお答えをいたしました。

それから、行事報告に戻っていただいて、ちょっと連休が2週続きましたが、最初の週の16日は川登小の運動会と南中の体育祭、それから、次の週の22日に南野津、野津小、それから中学校、臼杵の北、東、西それぞれの体育祭がありまして、ちょっと私が、両方ちょっと私用と重なって出席できなかつたんですけれど、課長の報告によると、かなりいい運動会をやったと、子供たちの盛り上がりのある、いい運動会だったという報告を受けております。

それから20日は定例の教頭会がありました。教頭会は8月はないもんですから、2カ月分のちょっといろいろなお話をさせていただきました。校長会と少し重なりますが、いわゆる異常気象というんですかね、あるいは地震、台風、そういった危機管理の大事さというものをちょっとお話しさせていただきました。それから23日も臼杵南小の運動会、これには参加させていただきました。子供の数は少ないんですが、地域の方々も一生懸命参加していただいて、盛り上がった運動会だったなと思います。それから、載せてないんですけれど、25日だったと思うんですけれど、来年度の高校入学の定員の発表があつて、ものすごく臼杵高校、海洋科学ともぐっと落ちて、今年度と変わらずということでありました。それから26日が9月の定例市議会のほう最終日でありました。ちょっと当日、そこに書いていますけれども、交通安全大会が、市議会が延びまして参加がちょっとできませんでした。午後もちょうと議会が入り込みましたので参加しておりません。それから昨日、戦没者の追悼式、それから校長面談ということで、その目標管理、年度当初に定めた人事評価に係る分ですけれども、

中間ヒアリングを今ちょうど始めているところです。10月4日まで日にちを振って、各校長と面談して、今の状況を聞き取るということもしております。それから今週末、冒頭に申し上げましたように、それぞれの運動会を入れておりますが、台風24号が接近しているために延期ということでもあります。

以上ですが、お手元に博報賞の資料が配られていると思います。実は、昨日、決定通知が来て、決定を知らせるということがきていましたが、本当は今日が一般に公表するというものであります。何かというと、この博報財団、博報堂ですかね、あそこが財団をつくって、子供たちが、推薦要綱の1枚裏側でございますが、目的・趣旨に書いていますけれども、教育現場で努力している実践者、団体を顕彰するということで、3番エリアの部門と活動範囲がありますけれども、五つの部門でそれぞれ表彰する。推薦を受けて表彰するというものであります。

一番下に、贈呈数と内容がありますけれども、5部門合わせて20件程度、今年が全部で17件ですかね、臼杵市が読書のまちづくりということで、ちょっと無理を言って臼杵小学校の桑原校長がいますし、山本教頭もこちらにいて、いろいろ読書のまちづくりに関わってきたんで、それで臼杵小学校のほうで中身を書いていただいて、私のほうから推薦という形で出しました。そしたら、とうとう賞に入りまして、一番最後に書いてありますが、表彰賞を受けることも100万円のほう、副賞もいただけるということで、使い方はこれから検討しますが、これを受賞できるようになりました。受賞者一覧がワンペーパーであるかと思います。国語・日本語教育部門で、団体、全国で4団体、その五つの部門で十何団体かあります。過去ちょっと冊子がきて見たんですけれども、実は、大分県で受賞は10団体あって、多分これ49回目になりますが、1993年に、実は山内流が伝統、文化、教育部門で受賞しています。それ以来で臼杵市が2回目ということでもあります。そういった受賞の、これは11月9日に東京のほうで表彰式がありますので、私も行ってきたいと思っておりますけれども、臼杵小学校のほうから一緒に行きたいと思っております。

それと、もう一点、さっき議会の最終日ということでは申しましたが、実は、今回の議会で、前回8月でちょっとお話ししました、下南、野津小の認定こども園化ということで、ちょうど設計委託料が提案されて議決されました。後ほど、また説明がありますけれども、認定こども園が整備されたあとの臼杵幼稚園の取り扱いということで、これをもう一度いろいろ御意見いただきたいし、その対応を図っていく必要があるかというふうに考えておりますので、よろしくお願ひしたいと思います。以上でございます。

報告は終わりましたけれども、御質問、御意見等ありましたら頂戴いたします。

(垂井委員)

意見ではありませんが、英語弁論大会は毎年9月に入ってからすぐ、もう始業式以降すぐあるんですけれども、今年も9月6日にあつて出させていただきましたが、年々、本当に年々、去年もそれを感じたんですけれども、今年さらには自分の学校というか、あるいは自分の地域

というか、それを原稿にしてというような、それから暗唱に関しても、明らかに先生がつくったなというような劇、お互いに掛け合いをするのも吉四六のことをしたり、私の学校をしたりとかで、何かあるものを単に暗唱するとかではなくて、それとこれとすぐ結びつけてあれするというのはいけないかもしれませんが、英語力も点数的に見ても上がってきているということも、一つやっぱりこれもあるのかな。これと兼ねさせて考えてもいいのかなというように、とてもうれしく感じる内容が、暗唱にしても弁論にしてもよかったし、何かもう少し地域の方々とかに、中学生の発表の場がありますというふうにアピールすると、英語なのでなかなか地域の人に来るといってもあれなのかもしれませんが、関連しているおばあちゃんとかおじいちゃんとか、喜んで孫が発表するとかいうような形で来ていましたし、それにしても、これは始業式すぐですから、夏休み中に教職員が、出て、相当指導しているというようなことを毎年感じさせる、今年もとてもいい会だったなというふうに思います。

それから、夏休み明けてすぐ社会を明るくする運動というのがあって、その作文も、去年は旧臼杵市内は、小学校、中学校全校参加だったんです。こういうのは県内にはなくて、全校、今年はちょっと小学校が2校出ませんでしたけれども、旧臼杵ですね。だけど、ある学校は去年に続いて6年生が全員、しかも人数の多い学校でしたから、2年続いて6年生に全員、明らかに社会を明るくする運動のために、皆さんならどんなことを考えますかということ先生が投げかけて、授業をしての上での作文だな、題材が同じのが何人か出てきましたから、同じだなというようなことを感じましたけれども、そういうことも通じて作文力、表現力の向上とか、それとすぐ結びつけるということも早計なのかもしれませんが、そういうようなことで、取り組みが非常にいいということで嬉しい事がありました。報告をしておきます。

(教育長)

ありがとうございました。特に英語の弁論大会、ちょっと私も行きたかったんですが、ちょうど答弁の検討会があります。行っていただきましてありがとうございます。

3. 協議事項

(教育長)

それでは、協議事項に入りたいと思いますが、協議事項の、報告第16号が、追加でちょっと本日提案させていただきます。追加させていただきましたので、よろしく願いいたしたいと思います。

(報告第15号非公開)

報告第16号、文化の日被表彰者の推薦について、社会教育課のほうからお願いいたしま

す。

(社会教育課)

それでは、私のほうから、報告第 16 号、文化の日被表彰者の推薦についてということで、御説明させていただきます。

書いていますとおり、文化の日の表彰で、今回、教育委員会のほうからは齋藤清内さん、末広にお住まいの方です。この方を推薦したいというふうに考えております。

公式の内容について、まず御説明をしたいと思います。

齋藤さんにおかれましては、昭和 39 年度から平成 11 年度までの 34 年間、長きにわたり高等学校の教員として在籍をしていただいております。その中で、昭和 43 年から平成 7 年の 27 年間、野津高校に勤務していただきまして、その中で剣道部監督として、数回にわたり多くの生徒を全国大会に導くなど、卓越した指導力を発揮していただいたところでございます。監督在任中には、インターハイ団体優勝 3 回、個人 3 回優勝、玉竜旗につきましては 3 回優勝等々、数々の成果を上げているところでございます。また、退職後も市剣道連盟に所属をいただきまして、平成 26 年から本年 3 月までの 5 年間、会長としまして連盟の運営に御尽力をいただき、市剣道の発展と普及に熱心に取り組んでいただいたところでございます。誠実な人柄、人として模範となる生き方については、市の青少年健全育成に大きく貢献したというところで、今回、文化の日の表彰として推薦をしたいというふうに思います。説明は以上でございます。

(教育長)

報告第 16 号の説明が終わりました。これについて御質問等ありましたらお願いいたします。報告第 16 号については、承認ということでよろしいですかね。

(委員承認)

4. 学力向上について

(教育長)

第 4 の学力向上について、説明に入りたいと思います。まず、幼児教育の推進について、説明をお願いいたします。

(教育総務課長)

それでは、私から学力向上についてのうち、まず、幼児教育の推進について御報告を申し上げます。

資料は A4 の縦置き、カラー写真がいっぱいある資料でございます。表彰のところにもありましたが、先般、市民会館小ホールにおきまして、白杵市幼児教育講演会が開催されまし

た。その内容について御報告をいたします。

開会に当たりまして、まず教育長から、今回、“臼杵っこ”育ての『羅針盤』が策定されたということと、今年はこの具現化していくことが大切だろうと、そのために関係者の力を借りて、幼児教育を推進していきたいという旨の御挨拶でございました。

3 番目、幼児教育の派遣研修実践報告ということで、今、臼杵小学校の渡辺美穂教諭が、市内の各園、各保育園で、実践研修という形で入り込んでいただいております。その中での渡辺先生の気づき等について御報告をいただきました。気づきの主な内容としまして、そこに書いていますが、主体的な遊びが子供たちの創造力・思考力・表現力を育て、学びを磨いているということ、実感を含めて御報告をいただいたところでございます。

4 番目につきましては、幼児教育推進協議会の座長を務めていただいております、大分大学の田中先生から御講演をいただいております。演題につきましては、「21 世紀を生きる子供たちに必要なこと」という形で、貴重な講演をいただきました。

最後、閉会行事につきましてですが、今回、県議会開会中にもかかわらず、申し上げたんですけれども、将来、市長部局というか、いわゆる幼児教育にかかわる縦割りの中ということも念頭に、今回、県知事部局の福祉保健部こども未来課の御手洗課長より、閉会の御挨拶を、ちょっと無理をお願いしましたところ快く受け入れていただきまして、閉会の御挨拶をいただきました。その中で、大変お褒めの言葉をいただいたんですけれども、ここに書いておりますが、大分県も臼杵市をお手本に、子育てにかかわる関係各課の横のつながりを強めて、幼児教育の充実を図っていきたいというお言葉をいただいたところでございます。

本講演会について、参加者の声、五つほど上げておりますが、ちょっと読み上げたいと思います。

小学校低学年の教職員には、ぜひ幼保の教育に直接参加させたい。環境が子供を育てるということを再認識した。

子供たちにとって遊びはとても重要で、遊びを通して多くのことを学んでいることを再認識しました。

臼杵市の子供たちの未来を考えて、とてもよいお話を聞くことができました。

渡辺美穂先生の研修報告は、小学校の教員研修でぜひお話をしていただきたいと思いました。

市内全教職員で共有すべき内容だと感じました。教育を校種でくくるのではなく、一つにつながる大切だと思います。ということで、手前みそになりますが、非常によい意識啓発につながったのではないかとこのように考えております。

最後、参加の状況についてでございますが、当日は 121 名の参加をいただいているところでございます。講演会の内容等についてアンケートをとりましたが、約 9 割の方々が講演会について肯定的な回答をいただいたところでございます。このような講演会の結果から、今後も定期的に講演会を実施して、さらに幼保小のつながりを深めながら、幼児教育の

推進を行っていかうかというふうに考えているところでございます。

以上で、幼児教育講演会等を終わります。

(教育長)

幼児教育の講演会についての報告でしたが、何か御質問、御意見ありましたらお願いいたします。よろしいですか。

それでは、次に、臼杵大好き臼杵っこ育成のための特別講演について、説明をお願いします。

(教育総務課長)

引き続き、学力向上の取り組みのうち、臼杵大好き臼杵っこ育成のための特別講演についてを、その内容について御報告いたしたいと思えます。

冒頭の教育長の報告にもありましたけれども、現在、市外からの教職員が増えている中にありまして、いかに臼杵に対する郷土愛と申しますか、愛着を持っていただきたいということが、ある意味、今後の教育の転換を図る上で重要になるという、そういった課題意識を持ちまして、今回、臼杵大好き臼杵っこ育成のための、この講演会を開催したところでございます。参加要旨につきましては、各校の学校運営のキーマンであります研究主任を対象に行ったところでございます。

演題につきましては、「何でまた、臼杵はこうなったの?」、地形と気候が育んだ、全国まれな臼杵の歴史と文化として、紙面にありますように、内容を 5 章に分けて臼杵の地形から歴史に至るまで、臼杵のよさを発信するようになりました、ということが内容だと思えます。

2 をごらんいただきたいと思えますが、この講演を受けての感想などを載せてあります。

ちょっと紹介いたしたいと思えますが、紹介内容につきましては、下線部について、読み上げたいと思えます。

臼杵の宝を学び、自分たちの臼杵市のよさ、誇りを改めて感じました。

深く知れば知るほど臼杵を誇らしく思うとともに、一層愛着が湧きました。

臼杵に住んでいる子供たちに、臼杵を誇りに思い自尊感情を高めることができる内容でした。

ここは特徴的な感想だと思うのですが、他市から来ているので、臼杵の歴史、地形の特徴など知りたいと思いながらも、なかなか学ぶ機会がなくて大変興味深い内容でした。

歴史を知ると、その地域がますます身近なものとなり、物の見方は一つではなく、多方面から捉えるとますますおもしろくなるということを感じました。

子供のころから臼杵石仏が大好きでした。きょうの話を聞いてますます好きになりました。子供たちに伝えていきたいです。

郷土を愛する子を育てるには、郷土のことをしっかり知ることが大切だと実感しました。

次に、地域の成り立ち、歴史を知ることが、もしかしたらコミュニティスクールのスタートかもしれません等々の感想がありましたので、今後、臼杵っこ検定や臼杵っこガイドの日程にあわせて、教職員にも臼杵を大好きになってもらうことを原点として、臼杵大好き臼杵っこの育成を進めていくことが必要だなということが、改めて感じられた研修でございました。

以上でございます。

(教育長)

説明が終わりましたけれど、今の説明について何か御意見、御質問がございましたらお願いいたします。よろしいですかね。

実は、この臼杵っこ検定、セミナーの博報賞の受賞も入ってきているんです。だから、この中のやっぱり臼杵っこ検定をやって、それから臼杵っこガイドが結びつくところも、この賞をいただいた背景にあるようなので、できるだけ臼杵っこ検定を子供たちに受けてもらうように考えてみたいと思います。

ありがとうございました。

5. 教育予算等について

次に、5番目の教育予算等について、これは特にうちのほうからはありませんので、委員さんから何か御要望等ありましたら頂戴したいと思います。

それから12月の予算、それから当初予算についてよろしいですか。まだ機会がありますので、気がついたらぜひお願いいたします。

6. その他

まず、平成30年度教育委員会学校訪問日程について、説明をお願いいたします。

(教育総務課長)

私のほうから、学校訪問日程について説明をいたします。

資料A4縦につきましては、例年の学校訪問でございますが、今回は11月6日を皮切りに11月26日にかけて7日間で実施したいと思います。例年スケジュールがタイトで恐縮ですが御協力のほどよろしくお願いいたします。以上です。

(教育長)

今、学校訪問の説明がありましたけれども、11月6日からなかなか皆さん忙しいですが、11月26日まで御参加お願いいたします。特別都合が悪いとかいう日はありませんか。

(垂井委員)

11月に集中していると思うんですけども、市指定研とか特別指定研、例えば南中の進路の発表時とかいうので、市関係の指定券の発表日とそれから、そういうふう特別に受

けている指定研の発表をちょっと教えてください。多分 11 月だと思います。もしわかっていれば小学校と中学校の音楽祭も教えていただけるとありがたいです。

(学校教育課総括課長代理)

10 月行事の一番下のところに 11 月の行事を入れてみました。

(垂井委員)

はい。わかりました。ありがとうございます。

(教育長)

それでは、次に、第 71 回大分県民体育大会の結果報告について及び第 14 回臼杵市民体育大会について、社会教育課のほうからお願いします。

(社会教育課長)

続きまして、私のほうから県体と市民体育大会について、説明したいと思います。

まず、県体でございます。

先ほど教育長報告の中にもございました、今年度は県南会場を中心に、9 月 8 日、9 日をメイン日程としまして熱戦を繰り広げたところでございます。

成績につきましては、団体では、山岳の男子が優勝、女子が 5 位、総合の 2 位、バドミントン競技では、残念ながら優勝こそ逃しましたが、バドミントン競技では初の準優勝でした。そして、テニス、カヌー競技においても総合 3 位、また、個人競技では、陸上競技で 2 名、カヌー競技で 1 名の方が優勝するということでありまして、成績を残したところでございます。あと、公開競技ではありますが、議員ソフトボールが二日後に再試合ということで、津久見との対戦で勝ちまして、臼杵を含めて 4 市で優勝ということになります。今回は、二日間雨だったため、結果よかった競技もあるんですけども、残念ながら勝つ予定だった競技も、ちょっと競技できなかったねということもあるので、総合成績で昨年より二つ順位を下げまして、総合で 9 位というところとなっております。来年度はぜひ総合 6 位、リーグ優勝を目指して、頑張っていただきたいというふうに考えております。

そして、来年の話なんですけれども、毎年 9 月に開催をしています県民体育大会があるんですが、来年度は 2019 ラグビーワールドカップ、これが 9 月に開催ということで、来年の県体は少し早まりまして 6 月 22 日から 24 日の日程で、豊肥ブロックを主会場で行うということになります。来年はちょっと日程がかなり早目という開催にはなります。

以上で、大会の報告を終わりたいと思います。

続きまして、市民体育大会の件を説明したいと思います。

今年度は 10 月 21 日をメイン日程で開催をされます。ゴルフのみは前々日の 19 日の金曜

日開催になります。種目につきましては、書いていますとおり 14 種目、これは昨年度と同じ種目であります。市民の皆さん約 1,600 名の方の参加を予定しているということであり、ぜひ今度は雨にならないように祈っておきたいと思えます。

市民体育大会、県体は以上であります。

(教育長)

県体と市民体育大会についての報告がありましたけれども、これについて御質問、御意見ありましたらお願いします。

(野上委員)

大体のことをいって、この体育大会の前の打ち合わせに区長で出るんですけど、毎年毎年ゴルフが組み合わせのきた日に、日程をくれるのが遅くてというのは、毎年の会議に出ているんですけど、どうぞ御検討ください。

(社会教育課長)

わかりました。早目のお知らせということです。

(野上委員)

何か、結局、カントリーのほうが組み合わせを決めるので、やっぱりとても遅くなって、あと交通の関係とか人を集める関係が、周囲にとってはとてもタイトになると言っていました。

(社会教育課長)

それはできるだけ早いうちに、またお知らせしたいと思います。

(教育長)

そのほかよろしいですか。

続いて、国民文化祭について、説明をお願いいたします。

(文化・文化財課長)

資料を、チラシを 2 枚お配りしております。

「時空でつながる USUKIism」ということで、公式ガイドブックをお配りしております。これは今回の市報で、組回覧で回すということにしておりますので、今日お配りしております。これが国民文化祭時に行われる、臼杵市内の全体の行事となります。一応、文化・文化財課で行う事業といたしまして、3 ページをお開きください。

こちら3ページの資料で、一番上にあります特別展、マレガ・プロジェクトと臼杵というところで、臼杵の総門家の記録資料を、今、歴史資料館のほうで展示しております。これはもう国民文化祭に使われております、10月6日から11月25日と書いてありますが、現実的には1月7日まで歴史資料館のほうで展示しておりますので、お時間があれば見てください。

続いて5ページ、下藤地区のキリシタン墓地の特別公開、これを11月4日、10日、23日、この三日間9時半と10時半の午前中2回ですが、公開案内という形で実施をいたします。また、あとで御案内しますが、委員の方々にも、期間中、日程都合を合わせていただいで来ていただきたいと思っております。

その下にあります11月24日ですが、講演会、キリシタン文化と大友宗麟ということで、奈良大学の千田先生に来ていただいて、キリシタン文化と臼杵についてちょっとお話をいただくようにしております。これにつきましては、千田先生は城郭の関係の先生でありまして、臼杵城とまちづくりですね、こういうことについて、臼杵の今の町並み、町割り等のお話をしていただけるのではないかと思っております。先生は、NHKの「歴史秘話ヒストリア」とかにも出られている有名な方で、ぜひともこの日は来ていただければと思っております。

その他、市内の分野別の事業とか、野津地域で行われます秋の祭典とかがありますので、御参考までに見ていただければと思っております。

あわせて、マレガ・プロジェクトの史料講座、こちらのパンフレットちょっとピンクっぽい色ですけども、これにつきましては、うちの岡村が参加しておりますマレガ・プロジェクト、その関係で、以前、昨年バチカンであった読み下しの公開授業が好評だったということで、これをぜひとも臼杵でもやってほしいということで実現いたしました。当日は、東大の名誉教授であります近衛先生、この方はキリスト関係についてはかなり著名な方らしいです。今回、近衛先生に来ていただいて、全体的なキリシタンのお話をいただいたあとに、そのあと前文化課の課長を兼務していた佐藤先生ですが、今、高田高校にいらっしゃいますが、この方に史料の説明等をしていただきまして、その後、解説、読み下しの講座という形で続けて行うようにしておりますので、ちょっとマニアックというか本当に好きな人が来るようなものになっておりますが、大変面白いものだと思いますので、ぜひとも御興味のある方等がいらっしゃったら、御案内していただければと思っております。

国民文化祭全体について、以上です。

(教育長)

国民文化祭について、説明が終わりましたけれども、御質問等ありましたら。

(野上委員)

マレガとフラメンコは同じときにあるんですよね。フラメンコは区に割り当てがきていたんですけど、それは誰かが行くと思うんですけど、振り込みなさいと書いてあるのに、どこどこに振り込みなさい。今までそういう徴収の仕方、区に割り当てがあったときにないので、自分で払いに行けということになったなと思ったので、違う方法もあったらうれしいかと思いました。

(教育長)

地区に割り当てがあったんですか。

(野上委員)

中央地区が 56 枚に当たって、行く人は行くんですけど、振り込みが。

(文化・文化財課長)

フラメンコ等は分野別ということで、各団体が、実際には運営をやっておりまして、聞いたところによりますと、この 800 名を目標にした予算組みをされているということです。売るのが本当じゃないんですけども、基本的には南蛮というところのつながりで、フラメンコの講師の後藤マリ先生が、やっぱり、これは臼杵でやりたいという申し出があった上で、臼杵が受けたというふうに聞いております。ちょっと支払い方法については、またちょっと検討させていただき、実行委員会に連絡させていただきますが、ぜひとも参加をしていただければと思います。

(教育長)

今の御意見については伝えたいと思います。そのほかよろしいですか。それでは、次に、幼稚園について説明を、教育総務課のほうでお願いします。

(幼稚園について 非公開)

9月の定例会はこれで終わりたいと思います。

会議録署名委員

会議録署名委員

会議録作成者
